

【公開講義】

もやい直し～つながろう！水俣と福島～

開催趣旨

大規模な環境汚染を引き起こした原発事故によって、産業への打撃、コミュニティの分断、避難生活の長期化など深刻な問題が生じています。福島県民をはじめとする被災3県は、震災後の4年間、復興に向けて着実に進んできましたが、いまだに解決しない問題の多さや、いままで直面したことのない状況に戸惑いや、心の中で不安を感じている人々が少なからずいるのも事実です。

今から58年前に熊本県水俣市を中心に公害事件が起こりました。そのとき人々は、どのように水俣病と向き合い、どのように乗り越えてきたのか。いまだに裁判や被害が続く水俣病事件に向き合う人々の姿勢に私たちが学ぶべきものや生かせる事があるのではないのでしょうか。

今回、水俣市の社会福祉法人さかえの杜ほっとはうすから3名の方に来ていただくことになりました。障がいを持つ方々の働く場であるほっとはうすに通い、自らの水俣病の体験を様々な世代に積極的に伝えてきた水俣病受難者の永本さん、松永さんと、受難者の方々の立場と気持ちを汲み取って伝えてきた加藤さんにお話をさせていただきます。

日時：2014年11月13日（木）13：00～14：30

場所：福島大学（福島市金谷川1番地）

講義棟 M4 教室

講師：永本 賢二 氏・松永 幸一郎 氏（水俣病受難者）

加藤 タケ子 氏（ほっとはうす施設長）

司会：森 洋介（福島大学行政政策学類4年）

コメンテーター：塩谷 弘康・清水 晶紀（福島大学行政政策学類）

対象者：学生・教職員、一般市民

お問い合わせ先：行政政策学類地域環境論研究室（西崎）

【Email】nishizaki@ads.fukushima-u.ac.jp

【TEL】024-548-8297

交流会のご案内

同日 15：00～17：00

場所：行政政策学類棟 中会議室（3階）

どなたでもご自由にご参加ください！

参加費
事前申込
不要！

主催：福島大学行政政策学類地域環境論研究室

*本講演会は福島大学行政政策学類地域環境論研究室の本演習として、福島大学行政政策学類あぶくま学生支援基金「もやい直し～つながろう！水俣と福島～プロジェクト」の助成によって実施します。